

資料4. 産業医科大学専門研修連携施設群

資料4 産業医科大学産婦人科研修施設群の概要

	責任者	指導医 数	分娩 数	帝王切開 数	婦人科良性 腫瘍手術数	婦人科悪性 腫瘍手術数	体外受精 件数
産業医科大学病院	蜂須賀 徹	8(8)	340	150	380	72	0
産業医科大学若松病院	吉村 和晃	1(1)	0	0	271	0	0
九州労災病院	土岐 尚之	1(1)	135	70	144	32	0
北九州市立医療センター	尼田 覚	3(0.6)	555	270	204	96	0
国立病院機構小倉医療センター	大蔵 尚文	3(0.6)	515	286	368	49	0
飯塚病院	辻岡 寛	4(1)	569	240	288	55	0
JCHO 九州病院	中原 博正	1(0.2)	485	200	450	83	0
中国労災病院	藤原 久也	2(1)	652	60	138	32	0
セントマザー産婦人科医院	田中 温	2(0.6)	0	0	45	0	6272
計		25(14)	3251	1276	2288	419	6272
():症例配分の指導医割合							

1) 研修基幹病院 産業医科大学病院

指導医	蜂須賀 徹、川越 俊典、鏡 誠治、柴田 英治、栗田智子、卜部理恵、植田 多恵子、愛甲 悠希代
疾患の比率	婦人科腫瘍45%, 周産期45%, 生殖・内分泌・女性ヘルスケア10%
医師数	常勤：17名 非常勤：1名 計：18名
病床・患者数	病床数：婦人科21、産科10、MFICU6、NICU 11、GCU 6 婦人科手術約540/年、婦人科悪性腫瘍治療数109/年分娩数299/年、帝王切開数120/年、母体搬送受け入れ数67件/年外来患者1日平均70/日
病院の特徴	「日本産科婦人科学会専門医制度研修施設」に加えて「周産期 専門医制度基幹施設」および「婦人科腫瘍研修認定施設」となっています。サブスペシャリティである周産期（母体・胎児）専門 医、

	婦人科腫瘍専門医、細胞診専門医の取得可能です。病床数：678、標榜科目：救急科を含む21科。地域がん診療連携拠点病院、総合周産期母子医療センターを有している。また、産婦人科内視鏡学会認定医も取得可能な施設です。
研修の特徴	良性から悪性まであらゆる婦人科疾患、母体救命、胎児救命、NICUを含むあらゆる周産期疾患、腹腔鏡まであらゆる生殖内分泌疾患・女性ヘルスケアなど非常に豊富な症例をそれぞれの専門家による指導にて研修することができます。生殖補助医療は、当病院では行っておらず、連携病院での研修となります。
臨床研修の内容	指導医とともに様々な領域の疾患の患者さんを担当し、産婦人科診療に必要な基本的な姿勢、技術を身につける。帝王切開や単純子宮全摘術など基本術式の第1助手を担当する。研究活動：カンファレンスでの症例提示や抄読会発表に加えて、学会発表、論文執筆・投稿を行う。
単年度専攻医受け入れ可能人数	7名

2) 連携型研修病院

I. 地域医療機能推進機構（JCHO）九州病院

指導医	中原博正、小川伸二
疾患の比率	腫瘍 50%、周産期 40%、内分泌 5%、女性のヘルスケア 5%
医師数	常勤：10名 非常勤：0名 計：10名
病床・患者数	病床数 婦人科 25床 産科 20床 NICU 15床 婦人科手術 約450件／年 分娩 約450例／年 母体搬送 100件／年
病院の特徴	「日本産科婦人科学会専門研修施設」で福岡県より地域周産期

	母子医療センターの指定を受けています。サブスペシャリティである周産期（母体・胎児）専門医、婦人科腫瘍専門医の取得可能です。
研修の特徴	良性から悪性まであらゆる婦人科疾患、母体救命、胎児救命、N I C Uを含むあらゆる周産期疾患、腹腔鏡手術など、豊富な症例を研修することができます。チーム医療制度を導入して、上級医師よりきめ細かい指導が受けられます。
臨床研修の内容	指導医とともに様々な領域の疾患の患者さんを担当し、産婦人科診療に必要な基本的な姿勢、技術を身につける。帝王切開や単純子宮全摘術など基本術式の執刀を担当する。 研究活動 カンファレンスでの症例提示や抄読会発表に加えて、学会発表、論文執筆・投稿を行う。
単年度専攻医受け入れ可能人数	5名

II. 九州労災病院

指導医	土岐 尚之 他 3名
疾患の比率	腫瘍 40 %, 周産期 40 %, 内分泌 20%
医師数	常勤：3名 非常勤：0名 計：3名
病床・患者数	病床数 婦人科 12床 産科 6床 NICU 0床 新生児 0床 婦人科手術 約 250 件／年 分娩 約 170 例／年 母体搬送 30 件／年

	外来患者総数 約 7,800 名/年
病院の特徴	安全で機能的な地域の分娩取扱い施設として、また、婦人科腫瘍、婦人科内視鏡手術の基幹病院として機能していくことを目指しています。
研修の特徴	良性から悪性まであらゆる婦人科疾患、N I C Uを要さない分娩、帝王切開などの周産期疾患、腹腔鏡手術を含む生殖内分泌疾患・女性ヘルスケアなど非常に豊富な症例を研修することができます。
臨床研修の内容	<p>指導医とともに様々な領域の疾患の患者さんを担当し、産婦人科診療に必要な基本的な姿勢、技術を身につける。帝王切開や単純子宮全摘術など基本術式の第1助手を担当する。</p> <p>研究活動</p> <p>カンファレンスでの症例提示や抄読会発表に加えて、学会発表、論文執筆・投稿を行う。</p>
単年度専攻医受け入れ可能人数	2 名

III. 小倉医療センター

指導医	大藏 尚文、他 4 名		
疾患の比率	腫瘍 45 %, 周産期 45 %, 生殖・内分泌・女性ヘルスケア 10%		
医師数	常勤：11 名	非常勤：2 名	計：13 名
病床・患者数	病床数 産婦人科 50 床 NICU 12 床 新生児 18 床		

	<p>婦人科手術 約400件／年 分娩 約600例／年 母体搬送 120件／年 外来患者総数 約18,000名／年</p>
病院の特徴	産婦人科専門医7名、周産期専門医2名、臨床遺伝専門医3名、臨床細胞学会専門医3名、婦人科腫瘍専門医4名、産婦人科内視鏡学会技術認定医1名が在籍しています。NIPT、予防的卵管卵巢切除、子宮体癌の腹腔鏡手術など、先進的医療を取り入れた、幅広い周産期医療、がん医療、産婦人科手術を行っています。
研修の特徴	生殖補助以外の全ての疾患が広く、深く学べます。良性から悪性までの婦人科疾患、母体合併症、母体救命、胎児救命、NICUを含むあらゆる周産期疾患、および、悪性腫瘍を視野に入れた腹腔鏡手術に対して、手厚い指導にて研修することができます。
臨床研修の内容	<p>指導医とともに様々な領域の疾患の患者さんを担当し、産婦人科診療に必要な基本的な姿勢、技術を身につける。帝王切開や単純子宮全摘術など基本術式の第1助手ならびに執刀を担当する。</p> <p>研究活動</p> <p>カンファレンスでの症例提示や抄読会発表に加えて、学会発表、論文執筆・投稿を行う。</p>
単年度専攻医受け入れ可能人数	4名

IV. 中国労災病院

指導医	勝部 泰裕、藤原 久也
-----	-------------

疾患の比率	腫瘍 33 %, 周産期 33 %, 内分泌 33%
医師数	常勤： 6 名 非常勤： 0 名 計： 6 名
病床・患者数	病床数 産婦人科 40 床 NICU 0 床 新生児 6 床 婦人科手術 約 260 件／年 分娩 約 660 例／年 母体搬送 40 件／年 外来患者総数 約 16,000 名／年
病院の特徴	日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設、日本周産期・新生児医学会母体・胎児専門医 暫定研修施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設、がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院となっています。
研修の特徴	産科、婦人科とも豊富な症例数があり、基本的なことから高度な手技まで習得度に応じて経験することができます。院内の他科や地域の診療所などとの連携も良好です。そのため、がん医療も在宅医療も視野に入れた終末期まで関与が可能です。手術は他科との協力体制も良好で、消化管や尿路系の処置も円滑に可能で、緊急手術も迅速に行えます。
臨床研修の内容	指導医とともに様々な領域の疾患の患者さんを担当し、産婦人科診療に必要な基本的な姿勢、技術を身につける。帝王切開や単純子宮全摘術など基本術式の第 1 助手を担当する。 研究活動 カンファレンスでの症例提示に加えて、学会発表、論文執筆・投稿を行う。
単年度専攻医受け入れ可能人数	4 名

V. 飯塚病院

指導医	江口 冬樹、辻岡 寛、後藤 麻木、深見 達弥
疾患の比率	婦人科腫瘍 45%, 周産期 45%, 生殖・内分泌・女性ヘルスケア 10%
医師数	常勤：10名 非常勤：2名 計：12名
病床・患者数	病床数：婦人科 39、産科 24、MFICU6、NICU9、GCU12 婦人科手術約 800/年、婦人科悪性腫瘍治療数 80/年 分娩数 569/年、帝王切開数 250/年、母体搬送受け入れ数 100 件/年 外来患者 1 日平均 110/日
病院の特徴	「日本産科婦人科学会専門医制度研修施設」に加えて「周産期 専門医制度基幹施設」および「婦人科腫瘍研修認定施設」となっています。サブスペシャリティである周産期（母体・胎児）専門医、女性ヘルスケア専門医、婦人科腫瘍専門医、超音波専門医の取得可能です。また、産婦人科内視鏡学会認定医も取得可能な施設です。
研修の特徴	良性から悪性まであらゆる婦人科疾患、母体救命、胎児救命、NICU を含むあらゆる周産期疾患、腹腔鏡まであらゆる生殖内分泌疾患・女性ヘルスケアなど非常に豊富な症例をそれぞれの専門家による指導にて研修することができます。生殖補助医療は、当病院では行っていません。
臨床研修の内容	指導医とともに様々な領域の疾患の患者さんを担当し、産婦人科診療に必要な基本的な姿勢、技術を身につける。帝王切開や単純子宮全摘術など基本術式の第1助手を担当する。研究活動：カンファレンスでの症例提示や抄読会発表に加えて、学会発表、論文執筆・投稿を行う。
単年度専攻医	4名

受け入れ可能 人数	
--------------	--

VI. 北九州市立医療センター

指導医	尼田 覚、 高島 健
疾患の比率	腫瘍 40%, 周産期 50%, 内分泌 5%, 女性ヘルスケア 5%
医師数	常勤 : 13名 非常勤 : 0名 計 : 13名
病床・患者数	病床数 婦人科 25床 産科 39床 MFICU 6床 NICU 9床 新生児 30床 婦人科手術約 373件/年 婦人科良性腫瘍手術件数 211件/年 婦人科悪性腫瘍(浸潤癌のみ)診療実数 82件/年 分娩約 555例/年(帝王切開を含む) 母体搬送 142件/年 外来患者総数約 17637名/年
病院の特徴	総合周産期母子医療センターとしての産科と、地域がん診療拠点病院としての婦人科を中心として診療を行っており、手術においては悪性疾患手術以外に腹腔鏡や子宮鏡の内視鏡下手術、性器脱手術など幅広く手掛けている。 (施設認定) 日本周産期新生児医学会周産期専門医研修施設 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設 母体保護法指定医師研修機関

	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
研修の特徴	周産期、婦人科悪性腫瘍のハイリスク診療の中で、指導医によるマンツーマンの研修を行っている。
臨床研修の内容	主に入院患者の診療にあたる。マンツーマンで指導医と診療を行う。また専攻医2年目から外来診療も担当する。 (カンファレンス等) 病理スライドカンファレンス、周産期カンファレンス、手術カンファレンス、NICUカンファレンス、抄読会 学会・研究会発表、論文執筆・投稿を行う。
単年度専攻医 受け入れ可能人数	5名

3) 連携専門研修病院

I. セントマザー産婦人科医院

指導医	田中 溫、永吉 基
疾患の比率	生殖 80%, 女性ヘルスケア 10%, 周産期・内分泌・ 10%
医師数	常勤：5名 非常勤：2名 計：7名
病床・患者数	病床数 婦人科 16床 婦人科手術 約 1000 件／年 採卵 約 6000 例／年 外来患者総数 約 92,000 名／年
病院の特徴	不妊症（特に男性不妊）に特化した、生殖補助医療を行う病院です。サブスペシャリティである生殖医療専門医の取得が可能です。

研修の特徴	体外受精、男性不妊（精巣生検）、婦人科手術を含むあらゆる不妊症における非常に豊富な症例を専門家による手厚い指導にて研修することができます。
臨床研修の内容	指導医とともに様々な領域の疾患の患者さんを担当し、不妊症診療に必要な基本的な姿勢、技術を身につける。 研究活動 週1回のカンファレンスでの症例提示や抄読会発表に加えて、学会発表、論文執筆・投稿を行う。
単年度専攻医受け入れ可能人数	3名

II. 産業医科大学若松病院

指導医	吉村 和晃
疾患の比率	腫瘍 15%、周産期 0%、内分泌 5%、女性のヘルスケア 80%
医師数	常勤：3名 非常勤：0名 計：3名
病床・患者数	病床数 婦人科 10床 婦人科手術 約300件／年 分娩 約0例／年 女性ヘルスケア 一外来 約2000件／年
病院の特徴	女性ヘルスケアを泌尿器科と一体となって行っている。
研修の特徴	女性ヘルスケア特に骨盤臓器脱の手術、また管理について上級医師よりきめ細かい指導が受けられます。

臨床研修の内容	<p>指導医とともに様々な領域の疾患の患者さんを担当し、産婦人科診療に必要な基本的な姿勢、技術を身につける。骨盤臓器脱など基本術式の執刀を担当する。</p> <p>研究活動</p> <p>カンファレンスでの症例提示や抄読会発表に加えて、学会発表、論文執筆・投稿を行う。</p>
単年度専攻医受け入れ可能人数	1名